

【資産10兆バフェットは大衆投資家が暴落で焦っているところを買う】

(億万長者バフェット学)

⇒編集後記

~~~~~

どうもゆうです！

こんばんは！

さてさて、今号ではずばり「バフェット投資学」について

考えて生きていたいと思います。

ヨーレンバフェット関係の記事は結構過去にたくさん

書いてきたのだけど、

最近やはりもっと書きたいなっているのがあって

それが私自身もバフェットのバリュー投資哲学を長く

利用させていただいてるのと、

あとは最近の日本のネットの株式関係の色々なスレッドを

見ているとちょっと個人的に「これは・・・ひどい気がする・・・」

と、思ったからです。

たぶんFXである程度資金ができてきたら

株なんかもされてる読者も多いようなのですが

その勉強の参考になれば、と思います。

それで この億万長者バフェットについて学んでいくシリーズは

定期的を書いていく予定なのですが

(私も自分の見直しになるし)

今日はずばり基本ということで

**【資産10兆バフェットは大衆投資家が  
暴落で焦ってるところで買う】(億万長者バフェット学)**

としました。

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**(写真37枚あり) 【マレーシア最大級のメガモール  
ミッドバレーに行ってきた】**

**[http://fxgod.net/pdf/malay\\_megamall.pdf](http://fxgod.net/pdf/malay_megamall.pdf)**

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【なぜ最近マスコミは「軍用地投資」をおおるのか？】

[http://fxgod.net/pdf/gunyouchi\\_toushi.pdf](http://fxgod.net/pdf/gunyouchi_toushi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「行動力を上げる裏技」とは？】

<http://fxgod.net/pdf/koudouryoku.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【「20代の4割は童貞」という  
驚愕の統計データについて考える！】

[http://fxgod.net/pdf/20dai4wari\\_doutei.pdf](http://fxgod.net/pdf/20dai4wari_doutei.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【マスコミが報じない「吉本興業に天下りをした警察OB30人」  
について考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/yoshimoto\\_keisatuob.pdf](http://fxgod.net/pdf/yoshimoto_keisatuob.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【EU のドイツとフランスは  
米ドル決済を使わない INSTEX（インステックス）活用を  
進めていく】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/instex\\_eu.pdf](http://fxgod.net/pdf/instex_eu.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【なぜマスコミは芸能人の  
入江さん、宮迫さん闇営業問題を  
「プロパガンダ」しているのか？（警察天下り利権）】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/irie\\_miyasako.pdf](http://fxgod.net/pdf/irie_miyasako.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF レポート (コラム)

「私たち人類は実は何も知らない!？」

[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての  
最新言論を見る!】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

FXNの動画「+105万円利益確定のトレードの説明動画です！」

⇒ <http://www.snatchfx.com/fxn150man>



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート【天井の時間帯は！？】

<http://fx-ntre.com/pdf/ci5.pdf>

【FX 天井・底の時間帯が分かる手法】サイクル理論とは！？

<https://youtu.be/a4AAr-xn4FY>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX サイクル理論動画】ライト・レフトトランスレーションの  
エントリー戦略とは？（FX・Nが徹底解説）

⇒ [http://www.snatchfx.com/cycle\\_trade](http://www.snatchfx.com/cycle_trade)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画】 スーパートレーダーFX・Nが教える「サイクル理論・入門」  
を公開！**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn\\_cycle1/](http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn_cycle1/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX・NさんのPDFレポート1】  
「サイクル理論とは何か？」**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_theory.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_theory.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・NさんのPDFレポート2】

「サイクル理論トランスレーション編

トランスレーションを理解して「波の性質」を見極める！」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_translation.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_translation.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【サイクル理論損切りラインの決め方とは！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci2.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【PDF】大富豪たちが使う「サイクル理論の構成」とは？

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_kousei.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_kousei.pdf)

PDF【サイクル理論天井と底はどこ！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci3.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【動画】分割決済の方法はこちら↓

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=huDd8YAX4qA>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

=====**編集後記**=====

さてさて、今日は 億万長者で大体 個人資産として

10兆円前後はあるといわれるローレンバフェットの

投資哲学について学びたいと思います。

というのが最近では株式投資ってのがFXなんかと同様に

注目されてるわけですが

この世界一の投資家であるバフェットのバリュー投資関係の情報

って意外に日本語で少なかったりするわけですね。

それでこの辺の考え方知っているとあなたもこれから

強いと思いますんで、

ぜひ学んでいきましょう^^

それでバフェットなんかはもう世界一の株式投資家であるのだけど

いわゆる「相場を張る」タイプの投資家ではない

わけですね。

バフェットの場合は過去40年以上にわたって

ウォール街を風靡してきた、

「相場」というものをずっと見てきたそういう人です。

が、バフェットの特徴としていわゆる「トレーダー」とは

違って、

例えばインターネット革命だっりの大きな相場、

これらを全て 素通りして、それで1円もそこで儲けてこなかった

という「投資家」なわけですね。

だからバフェットを学ぶと根本的に

「トレーダー」と「投資家」ってのは同じ市場の中で

勝負するものの、スタンス自体がかなり違ってくる

ってことですよね。

それで元々バフェットは10万5000ドルから、

だから日本円で言いますと1000万円ちょっとから

株式投資を始めたといわれますが

そこでバフェットの富はもう10兆円近くになってきてる

というのが現状なわけです。

1人で10兆円・・・すごいですよね。

それでバフェットの投資の基本思想ってのがあって

それをまず今号では書きたいな～と思います。

それでこれは儲かってるFXトレーダーであったり

ネットビジネス起業家たちにも通じてることなんだけど

そういう意味で発見があると思います。

それでバフェットの市場でのスタンスで大変重要なスタンスが

あって、



それが「**市場の短期指向の人の裏を書く**」ってのが

あるんですね。

もっとはっきり言うと、

これは私なんかはバフェット関係の書籍は10冊以上は

読んでるけど

彼は「短期視点の人を軽蔑してる」とさえ言えると思います。

ただ「なぜバフェットが巨大な富を築けたか」

っていうと実はこの姿勢にあるわけでした

もっと言うと、

**「短期視点の個人投資家や機関投資家の裏をかくことによって**

**巨万の富を築いてきた」**

わけですね。

だからバフェットっていうのは偉大な投資家ということで

世界中の投資家から尊敬を集めているわけですが

実はその投資姿勢ははっきり言うと、

**「大多数の大衆投資家の近視眼的な行動がもたらしてる**

**愚かな結果を徹底的に利用して」**

それで今の億万長者の立場を築いたともいえますよね。

**「短期間に 即金で、早く稼ぎたい」**

というこれは人間のカネへの欲求ですが

そこで長期視点を持ってそれで資金投下できる投資家は

ほとんどいません。

が、バフェットの場合はそれをやり続けてきたからこそ

大金持ちになったのだ、ってことです。

それで大多数の投資家は、短期間に大きく儲けようとして

愚かな投資行動をとってしまうけど、

バフェットのやり方ってのはまさにそういう瞬間を

辛抱強く「待つのも仕事」で待ち続けて、

それでそういう現象が出たとき、

短期指向のトレーダーたちの弱みに「つけこむ」のですね。

そう、だからバフェットってのは実は

ある種の略奪者であるなんて言い方もあるんだけど

「大衆投資家が暴落で売り浴びせてるところで

本質的価値がある企業の株を買っていく」

わけですね。

それでバフェットはこのタイプの投資の世界一のプロですが

実は彼が若い頃に気づいた真理ってのが

ある。

それが・・・

「大多数の投資家の95%くらいは、

近視眼的」

なのです。

彼ら近視眼的な投資家、というかギャンブルトレーダーの

特徴ってのがあって

それが「好材料で買い、悪材料で売る」

っていうものです。

好材料って言えば、例えば近い将来の買収案件に関するものも

あれば、

または今4半期の1株あたり利益の上方修正だったり

株価が急騰するだとか、

そういったものですよ。

あとは悪材料っていうのは

業界全体が不況になるとか、

4半期の1株あたり利益が予想より下方修正された

とか、

そういった小さなこと様々あります。

それでバフェットがまだ今より若い頃気づいたこと

というのがあって

それが銘柄に関する好材料が強気相場と組み合わせると、

株価は頻繁に雲の上まで行くような感じで

急騰するってことですよね。

好材料現象、といいます。

それでこれは逆も真でして、

弱気相場の中でそこで企業の悪材料が

伝わっていくと

株価は急落、暴落したりするわけです。

これを 悪材料現象、とかいいます。

ただ重要なのが

「好材料現象も 悪材料現象も

~~~~~  
企業の長期的な基本的経済価値とはまったく関係なく

~~~~~  
動く」

~~~~~

のですね。

これはどういうことかっていうと

すなわち市場参加者の多くが「短期視点」「短期指向」

であるから

そのある種「おかげ」で、時として

株価ってのは過大評価されたりするし、

また株価は過小評価されるわけですね。

ただこれはバフェットのバリュー投資の大変重要な考え方

であるけども、

「長期的に」株価水準を決める基準ってのは、

その企業の基本的な経済価値なのだ、

ってことです。

だから過大評価された株ってのは

しっかり下方修正されるし、

過小評価された多くの銘柄は次第に

価値を見直されて、

そしてそこに投資した投資家は報われるわけですね。

だからバフェットってのは基本スタンスとして

「今人気の銘柄」とか目もくれないですし、

彼が投資する時には

「今の相場でも見向きもされていない、

そんな銘柄の中に将来のスター候補がいる」

っていう考え方で投資するわけです。

すなわち、それらのある種「宝探し」みたいなものだけど

バフェットはそのプロですよね。

それでその宝探しのヒントってのがあって、

そのヒントは、

市場の短期指向な、短期トレーダーたちが

偉大な、素晴らしい、ビジネスの価値を大幅に過小評価している

その

タイミング

を見極めるところにあるわけですね。

バフェットはずっと長い間、何十年もこの考え方だけで

やってきた。

それでバフェットが到達した結論というのがあり、

それが

株式市場ってのは短期視点で動く人が95%であるから、

偉大な企業であってもそれが悪材料に過剰反応して

それで売り浴びさせられるときが多々あると。

が、その際に「妥当な企業の評価」をしている投資家たちに

とってはそれが「絶好の買い場」となっていくってことです。

それで個人投資家だけではなくて機関投資家のファンドマネージャー

たちってのは

悪いニュースが出ると売るわけです。

短期指向だから。

けどバフェットはそんなときにこそ

「待ってました」という感じで買い出動するわけですね。

そして大量の株を取得する。

それは、時が経過すれば、企業の長期的な経済価値が

株価を妥当な水準に引き戻すことを十分バフェットは知ってるから

ですよ。

だから NY のウォール街が 目先の悲観論なんかで

暗い感じになっているときですよ、

そういうときに本来、経済的価値があり、

健全な企業の経済価値が暴落していたりするんだけど

そこでは短期指向の投資家たちは ファンドなんかも含めて

妥当にその企業を評価していないわけだけど

そのときこそがバフェットにとっては

「買い入れ時」なんですね。

だから、バフェットの場合は好材料ばかりが出ている

強気相場では滅多に手を出さないわけですね。

最近アップルなんかを取得しているものの

バフェットが以前、ヤフーなんかにまったく興味がなく、

さらにはインターネットバブルでどんどん時価総額が

あがっていったそういうハイテク企業群を無視していたのは

有名な話です。

当時、バフェットはそれを揶揄されていて

「バフェットはIT企業に投資しないで馬鹿だな～」なんて

短期指向の

ヘッジファンドマネージャーたちや個人投資家に言われていたけど

その後バフェットの資産額は膨れ上がって、

いまや10兆円前後まで達している。

すごいですよね。

それでバフェットが得意としているのは

世間の大衆投資家とはまったく逆で

みんなと一緒にすることは一切しないのがバフェットですが

そこで彼は人気銘柄を避ける。

そしてしっかりした事業を営む、経済価値がある

人々に喜びをもたらす、立派な企業の株価が目先の

悪材料で売り込まれて

ニュースなんかで「〇〇社の株が暴落！」なんて出てる時ですね、

そんなときにバフェットは買うわけです。

だからバフェット投資のために必要な素質ってのが

あってそれがおそらく「勇気」ですよ。

世間で、大衆たち、マスコミたちが「暴落だ〜うわ〜」

といってる時、

そんな大衆の動きは軽蔑しながら、

そこで一気に 大金で株を買いあさる。

これができるのがバフェットのすごさであって

その後ろにあるのは「勇気」というものあるでしょう。

ほとんどの投資家が尻ごんで、その株には手をつけないところ、

バフェットは買い進むわけです。

ただこれは バフェットも闇雲に暴落した株を

買ってるわけではなくて

ちゃんと彼なりの基準ってのがあって、

それに沿って、買い進んでるわけですね。

それでバフェットが大変気にするのが

将来の複利も込みの投資パフォーマンスでして

もしその株価が高すぎれば、

その企業がいかに優れたファンダメンタルをもっている、

その銘柄に対するパフォーマンスは大きく下がってしまう。

例えば 現在1000円の株が

10年後に5000円になったとしたら

5倍だけど、

もしその1000円の株が暴落する時期があつて

500円で仮に取得できれば

それは10倍になるわけですね。

正しい銘柄を、十分低い株価で買う。

これができる、あなたも豊かさを身につけられる

というわけです。

それでバフェットなんかは株価が売り込まれる事態になったとき、

その原因になった当面の嵐をその企業がそれを乗り切れるかどうか？

なんかを判断する基準を持っていますよね。

またさらに具体的にバフェットの場合は

ある種の公式を持っています

「複利ベースでの年平均の投資収益率」

(年平均リターン)

を想定して、

その水準が「企業オーナーの株主として」

適切な十分な高さなのか？

ってのを考えてそれで 株価が低いときに買ったりします。

それで重要なのがバフェットの投資は極めてシンプル、

なわけですね。

一応公式とかはあるんだけど、

単純な話で

「愚かな短期指向の人たちが一喜一憂するがゆえに

本来経済的価値がある企業が必要以上に売り込まれることが

多いから、そのときに狙って買う」

わけです。

が、これは「言うは易し、行うは難し」ってやつで

実は「人間の本能に反した」ものです。

投機のFXでも「損きりしないといけない」のを知ってながら

やはり95%以上は損きりできない。

だから投資心理なんかを勉強して実践の中でそれは

自分と向き合っ

心理を身に着けていくしかないんだけど

これができるようになってくると、

バフェットのように「暴落したときに経済的価値が本質的にある

株を買い付けて、株主、オーナーとして

複利ベースで満足な年平均投資収益率」を得られるわけです。

それで重要なのがバフェットを学ぶと

「短期指向が いかにか この 為替市場でも株式市場でも

当たり前になっており、

そして彼ら短期指向の投資家の損失なくして

バフェットは億万長者足り得なかった」

ってのが分かってくるわけですね。

市場は近視眼的な指向で満ち溢れていて

実際に人気があるのは

「楽しんですぐに即金で大もうけ」ってものです。

これになびく人が大多数なのが世の中。

が、実は将来的にカモになるのがこの人たちですよ。

この号の前に「軍用地投資に飛びつくのは愚か」

って話を書いているけど

そういう考え方も分かってくるようになる。

それで「短期指向」とは何なのか？

「悪材料現象」とは何なのか？ですけど

大体の人は「一攫千金の夢」に取りつかれてる。

メディアの影響なんでしょうか。

日々のストレスのせいでしょうか、

色々な説はありますが、とりあえず私たちが分かっているのが

「大多数の、大衆は短期思考しかできない」

ってことです。

それでもし、大多数の投資家が仮に短期指向でなければ

バフェットの成功はありえなかった、んですね。

バフェットは30年ほど前に、ワシントンポストの株価が

1株6ドルのとき、

そのときに170万株も取得した。

そしてワシントンポストの株価は?っていうと

500ドルを超えて、700ドル台まで今はつけてるけど

大体500ドルの時点でバフェットが最初に投資した

1020万ドルは、8億6380万ドルになっている

わけですね。

だから大体年平均で18%前後は増えていったってことです。

同じことはバフェットが投資したコカコーラも有名だけど

このコカコーラは5ドルで買ったけど

その後、コカコーラ株は50ドル以上になっており

それで年平均で21%の収益率を生み出しているわけです。

それでバフェットが気づいたことってのがあって

「どうも 世の中の大多数の投資家ってのは

インターネットを使うデイトレーダーも

また何十億ドルを運用する投資信託のファンドマネージャーも、

株式投資家の95%は 一夜で大もうちけすることしか

脳がない」

ってことです。

口先では長期投資を言ってる人も、実際の投資行動を見れば

目先の利益追求ですぐに利益確定していたりするわけです。

その投資家がいかに知能が高かろうと、

市場ってのは「動物的本能が支配する世界である」

ってのを早々に見破ったのが、バフェット。

すなわちバフェットってのはすごい投資家で立派と言われるのだけど

やはり現実をしっかり見てる人で

バフェットは「動物だらけの市場」において

「理性を持った人間」としてずっと行動してきた投資家です。

だから動物を刈って、そして人間が肉にして食べるけど

実はバフェットっていうのは

こういう短期指向の動物のような投資家たちを

喰ってきた投資家であるわけですね。

こう書くと、バフェットに対しての印象はよくないかも

しれないけど、

やはりそれは一定の真実です、キレイゴト抜きで。

それでこの「短期思考」ってのは実は

個人投資家のみならず、

ファンドマネージャーも一緒に、

バフェットが気づいたのがファンドマネージャーたちの

多くは実際は投資のプロのように振舞うけど

同じく短期思考なんだ、ってことです。

ファンドマネージャーは「毎年」「できる限り投資収益を上げよ」

ということを命じられているわけで

それで年俸で雇われてたりするわけですね。

ここに弱点がある。

すなわち、短期思考しかできないわけですね。

業務の性質上。

これはAI投資が脅威だなんていわれるけど

そのAIを使ってるのもファンドマネージャーたちであり

彼らもやはり「短期思考」なわけです。

実はここに AIの弱点もあるんです。

バフェットはそこまで言っていないけどやはりAI投資の弱点を

バフェットは見抜いてるでしょう。

それで投資信託のマネージャーたちの弱点があって、

というのは多くの投資信託を使うような 投資家ってのは

そもそも運用ランキングのトップに出てくるような

投資信託しか興味を示さないのですね。

仮にその投資信託が最下位の10%以内の成績ならば、
そんなファンドを売り込むための広告投資は大変なものとなる。

だからそんなことをファンドたちは嫌いますから

そんなマネージャーはクビにする。

そしてやり手でアグレッシブ運用の若手に任せるとするんです。

実際に多くのファンドやら投資信託を買う個人たちってのは

運用ランキングばかり見ているものでして、

だからそのような 商売が投資信託ですから、

投信のマネージャーがどんな信念であろうと、

彼らは運命的に、短期の値上がり益をあげて職をつなぎとめよう

とするわけですね。

バフェットが気づいたのはそこですよ。

そしてさらに彼が気づくのが

「彼らは短期指向だから

だから彼らは 保有株の悪材料が出たら

動物的な感情で売る」

ってことです。

そこに売るための理屈はなくて、

「みんな売ってるから売る」です。

羊の群れは 狼がきたら瞬間的に逃げるわけですが

その動物的本能で市場は動くってバフェットは気づいた。

となると短期思考（指向）の人たちにとっては

儲ける方法はひとつだけに集約されてしまうわけで、

それは「株価が上昇する前にいち早く仕込んで、

そして下落する直前に売り逃げる」

という戦略だけになります。

そのためにはその銘柄に関する、ホットな情報を入手する必要が

あって、

プラスの業績予想なら株価は瞬間的に反応して上がったり

そして逆なら下がると。

もしくはそこで裏を取って、上がったのを売り浴びせて

ファンドたちが利益を得るとかそういう世界です。

マネーゲーム。

それで多くの市場参加者にとっては、

その企業の1株あたりの利益が1～2年後に増えてるかどうか？

なんてのは関係なし！となるわけですね。

多くの人が注目するのが、

「今日」市場で何が起こるのかな～ってもので

短期なんですね。

今週の相場が強そうならみな買うし、

来週が弱そうなら売るという具合。

だから投資信託もそういう個人投資家に投資信託を

買って貰うから

銘柄入れ替えまくるって感じです。

競争相手を出し抜くために、多数の銘柄を日々

デイトレで売買するわけですね。

それで特に覚えておくとよいのが

「悪材料現象」でして大多数の人は短期思考だから

「悪材料で売る」んですよね。

最近で言うとアルバイトの人がツイッターに投稿したとかで

売られるってありますが・・・

あれってその企業の本質的価値に関係あるのでしょうか？

ほとんど関係ないですよね？

けどなぜか株価は30%とかも暴落してくれたりする

わけでした、

あれなんかは私なんかは株価を暴落させて

買いたい投資家がアルバイトのやつにカネ渡して

不適切投稿でもさせてるんじゃないか、

くらいに疑うくらいです。

けど実際に市場はそれに反応して売りますよ。

ニュースなんかはそういう意味で「逆指標」で使えるのだけど

ニュースで悪材料が出れば、

かなりの確率で株価は下がっていきなり暴落するわけですね。

これが市場の本質なんですね、**大多数が短期思考。**

それで「バフェットが心躍る」のはまさにこの瞬間であって

「やっとあの企業の株価がここまで落ちてきて

オーナーとして妥当な年間投資収益率を期待できる水準まで来たぞ〜

えい、買い」

なんです。

すなわち「市場の投資家たちが常に短期思考であるがゆえ、

バフェットなどの バリューストック投資の長期投資家にとっては

定期的に 贈り物 がされてる状況」

なんです。

この「短期思考の人たちの 感情に基づくトレード」

ってのが

バフェットに毎年毎年 買うチャンスを提供してくれた

わけです。

そしてこの市場の性質、すなわち短期思考の人が

ほとんどで95%だ、

っていう性質は人間の動物的本能に基づくもので、

ちょっとやそつとのことでは変化しようがない

ってのが分かりますでしょうか？

そう、これがバフェットが使ってきた

「資本主義での唯一無二の戦い方」です。

それは「みんなと一緒に悪」であるし、

「少数であるからこそ金持ちになる」

っていう考え方ともつながってますよね？

それでここで知っておきたいのが

どんなに悪材料で売り込まれていようとも、

その泥沼状態から這い上がるだけの

経済エンジンを備えた少数企業がある

ってことです。

それで今号では長くなるのでここまでにしますけど

そこでバフェットが買うのは常に

「消費者独占力」が強い企業ですよね。

これがバフェットが求めてやまない企業群です。

これがバフェットの投資哲学の聖杯であるのだけど

この辺が分かれると強いということです。

それでこの バフェットの基本思想だけでも

相当重要な内容なんで

今号ではとりあえず基礎なんでそれを書きました。

また、私も復習になるんで、これはまた

後日消費者独占企業とかコモディティ企業とかが

あるんだけど

それもまた書く予定ですな～～

とりあえず今号では

「バフェットは短期思考（指向）の大多数の投資家の

動物的本能で動いてしまう性質を利用して

大金持ちになったのだ」

っていうところが理解できれば大丈夫かと思います。

それでバフェットの文献なんかを読むと

とにかく短期思考の人をディスりまくってるのだけど（笑）

その辺が分かれると面白いと思いますね。

ただこの短期思考の人たちってのが

「度重なるチャンス」を提供してくれるってのが

市場の事実、本質なんで

それを逆手に何十年間も取り続けるってのが

億万長者への秘訣ということですね！！

バフェットの投資根本思想ってのは世間では

ほとんど理解されていませんが

やはり あなたがいずれトレードから

投資に移動していく時、

これらの知識は必ず役立つわけですので

是非バフェットについて学んでいきましょう～～

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみにFXなんかでも

この「短期思考」VS「長期思考」の戦いはあって

最近やはり利益をあげてるスクールってのは

サイクル理論とかダウ理論とか使う原理原則は違うけど

結局「損失小さく、利益大きい」ってものでして

やはり投資収益率を高くしていこうってものが

儲かっている生徒が増えてますよね。

だからFXなんかのトレードなんかも

実は 短期のギャンブル的なトレード、

というものよりは、

長期的な投資寄りの姿勢のほうがなんだかんだ

長期で金持ち増えるよね、って話になりますね。

最近私の読者さんはまあ金持ちが増えてるんだけど

もちろん全員ではなくてこれから学ぼうなんて

新しい若い読者さんも多いけど

私のメルマガ読んでる層が

長い読者は金持ち率高いんですよ。

(これは私が言ってるんじゃないくて、

スクール経営者たちが言ってるんで事実かと。)

んでこれは長期思考を身につけてるからだ

思ってるんだけど

んで今借金があるとか、そんな人も新規読者は

いるわけですが

それらも思考が変われば、徐々に資産もマイナスから

圧倒的プラスになりますよね。生きてる限りは。

すなわちその長期思考の本家本丸がバフェットなんで

これからもっと2年3年4年って感じで

お金持ちは増えるかなと思ってます。

だから大きく「短期思考 = 貧乏」

「長期思考 = 金持ち」という公式は成り立つと

思ってます

バフェットもやはりそういう思想を持ってるってことですね。

そんでバフェットの投資姿勢も無料でこれから

色々 私の自分の投資姿勢の復習がてら、

また書いていく予定なんで

それら組み合わせたらかなり資産は増えるかと思えますから

(短期では 運が作用しちゃうから分からないけど、
長期なら増える確率が超高いかと)

お楽しみに！

それでは！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

(写真37枚あり) 【マレーシア最大級のメガモール
ミッドバレーに行ってきた】

http://fxgod.net/pdf/malay_megamall.pdf

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆